



2023年6月4日  
6月第一主日礼拝式／聖餐式  
＜青木園子姉 転入会式＞

140 互いに愛し合い

たがいに愛し合い

主イエスの愛を

すすんで世界にあらわそう

ともに

日ごとに新たな きよい主の愛

さあ今 手を取り あらわそう

# 「主をほめよ高らかに」

(歴代誌 I 29:11)

主をほめたたえよ 高らかに

主イエスを

主をほめたたえよ とこしえに

主イエスの名を

主の愛 いつまでも変わらず

全地(ぜんち)を喜びで満たす

主をほめたたえよ 高らかに

新聖歌 143番 「いとも尊き」

- 1 いともとうとき 主はくだりて 血のあたいもて たみを救い  
きよきすまいを 造りたてて  
そのいしずえと なりたまえり
- 2 よものくにより えらばるれど 望みも一つ わざも一つ  
一つのみかて とともに受けて  
ひとりの神を おがみたのむ
- 3 さわのあらそい み民を裂き よびとそしりて 悩むれども  
神はたえざる 祈りをきき  
なみだに代えて 歌をたまわん
- 4 よにのこる民 さりし民と とともにまじわり 神をあおぎ  
とわのやすきを まち望みて  
きみの来ますを せつにいのる

アーメン

# 日本同盟基督教団 信仰告白

## 日本同盟基督教団教憲第一条

我らは、聖書において啓示され、使徒信条をはじめとする公同の信条が言い表し、宗教改革において鮮明にされた信仰にもとづいて、次のように信じ、告白する。

1. 旧、新約聖書66巻は、すべて神の靈感によって記された誤りのない神のことばであって、神の救いのご計画の全体を啓示し、救い主イエス・キリストを顕し、救いの道を教える信仰と生活の唯一絶対の規範である。
2. 神は霊であり、唯一全能の主である。神は永遠に父と子と聖霊の三位一体であって、その本質において同一であり、力と栄光とを等しくする。
3. 神は、永遠の御旨により万物を創造し、造られたものを摂理によって統べ治める絶対主権者である。

# 日本同盟基督教団 信仰告白

4. はじめに人は、神のかたちに創造され、神と正しい関係にあった。しかしサタンに誘惑され、神のいましめに背いて罪を犯し、神のかたちを毀損した。それゆえ、すべての人は生まれながら罪と悲惨、死の支配のもとにあり、思いと言葉と行為とにおいて罪ある者である。自分の努力によっては神に立ち返ることができず、永遠の滅びに至る。
5. 主イエス・キリストは、父なる神のひとり子であって、聖霊によって宿り、処女マリヤより生まれたまことの神にしてまことの人である。主は我らに代わって十字架にかかり、死んで葬られ、よみにくだり、三日目に死者の中からよみがえり、我らのために贖いを成し遂げ、我らに永遠のいのちを与えた。主は天に昇り、父なる神の右の座に着き、大祭司として今も我らのために執り成している。

# 日本同盟基督教団 信仰告白

6. 聖霊は、我らに父と子を示し、罪を認めさせ、赦しを与え、我らを新たに生まれさせ、神の子とする。人は、自分の行いによらず神の恵みにより、主イエス・キリストの贖いのゆえに、キリストを信じるただその信仰によって義と認められる。さらに、聖霊は、助け主、慰め主として我らの中に住み、我らを主と同じかたちに造りかえ、我らに御旨を行わせ、世の終わりまで我らとともにあり、我らをキリストとの共同相続人とする。
7. 教会は、聖霊によって召し出された神の民、主イエス・キリストをかしらとするからだであり、羊飼いなる主の御声にのみ聴き従う羊の群れである。地上の教会は、再び来られる主を待ち望みつつ礼拝し、みことばを説教し、聖礼典を執行し、戒規を重んじ、聖霊の力によって全世界に福音を宣べ伝える。

# 日本同盟基督教団 信仰告白

8. 終わりの時に、主イエス・キリストはみからだをもって再臨し、生ける者と死せる者とを審判する。主は我らをからだをもってよみがえらせ、我らをご自身の栄光と同じ姿に造りかえ、万物を新たにし、神の国を完成する。

アーメン。



新聖歌49番 「しみも咎(とが)も」(聖餐式)

- 1 しみも咎(とが)も 汚れもなき  
小羊わが主は ほふられしや
- 2 こは わがため 十字(じゅじ)の上に  
釘(くぎ)もて裂かれし みからだなり
- 3 こは わがため のろい受けて  
流させたまいし 君(きみ)が血なり
- 4 こは わがため 与えたもう  
いのちの糧(かて)なり 飲みものなり
- 5 なつかしくも 見失(う)せし主は  
まもなく再び 来たりたまわん
- 6 その時まで 十字架を負(お)わん  
救いの恵みを 喜びつつ                      アーメン

# 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌397番 「神の御子にますイエス」

1 神の御子にます イエスのために  
罪を敵として 立つは誰(たれ)ぞ

\* すべてを捨てて したがいまつらん  
わがすべてにます 王なる主イエスよ

2 富(とみ)の楽しみと 地の位(くらい)に  
目もくれずイエスに つくは誰(たれ)ぞ (\* )

3 罪にとらわれし たましいをば  
イエスに連れきたる 勇士は誰(たれ)ぞ (\* )

【次】

新聖歌397番 「神の御子にますイエス」

4 わが持てるものは 主よ汝(な)がもの  
きよき御戦(みいくさ)に もちいたまえ

\* すべてを捨てて したがいまつらん  
わがすべてにます 王なる主イエスよ

アーメン

# 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン